

令和8年1月竜王町定例教育委員会会議録

開催日時 令和8年1月30日(金) 午前9時25分から午前10時40分まで
開催場所 竜王町総合庁舎2階205会議室
出席者 教 育 長 甲 津 和 寿
委 員 谷 康 夫
委 員 中 島 薫
委 員 白 井 磯 治
事 務 局 森岡教育次長、沖教育総務課長、山中学校教育課長、
山中生涯学習課長、奥教育総務課長補佐兼教育総務係長

開会時刻 午前9時25分

閉会時刻 午前10時40分

会議日程 以下のとおり

- 日程第 1 その他
- 1) 令和8年度竜王町教育行政基本方針策定に向けたスケジュールと基本方針前文(案)について
 - 2) 令和8年度教職員人事異動に関する基本方針について
 - 3) 教育施設の整備に関する状況報告について
 - 4) 連絡事項

議事要旨 以下のとおり

【会議の内容】

沖教育総務課長 皆さん、改めましておはようございます。皆さんお揃いですので、ただいまから1月の定例教育委員会を開催させていただきます。本日は、櫻井委員さんが欠席です。

初めに町民憲章の唱和をお願いしたいと思いますので、ご起立をお願いいたします。前文は私が読み上げますので、一つからお願いいたします。

(町民憲章唱和)

ありがとうございました。ご着席ください。それでは、開会にあたりまして甲津教育長よりご挨拶を賜りたいと思います。よろしく願いいたします。

甲津教育長 皆さん、おはようございます。早いもので、1月も明日で終わります。「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」とよく言われますが、この時期は本当に日が経つのが早いと感じております。改めて、一日一日を大切に、特に学校園においては一時間一時間を大切にしながら、授業や保育、各種活動を丁寧に進めていただきたいと思います。願っております。

さて、年明け以降、学校園は順調にスタートしており、教育委員会関係の事業

も概ね計画どおり進んでおります。2学期末にインフルエンザによる学級閉鎖はありましたが、新学期に入ってから発生しておりません。

事業につきましては、11日の二十歳のつどい、24日のじんけんを考えるみんなのつどいなど、いずれも滞りなく実施することができました。また、25日には苗村神社において、近江八幡消防署および竜王町消防団の皆様による文化財防火訓練が行われました。積雪のある中ではありましたが、予定どおり実施され、私も参加させていただきました。きびきびとした訓練の様子に、身の引き締まる思いがいたしました。

改めて、貴重で重要な文化財を火災や自然災害等から守るためには、日頃からの備えと強い意識、そして確かな行動が何より大切であると実感したところです。

現在、令和8年度の予算もほぼ固まり、これを踏まえて教育行政基本方針の策定を着実に進めております。委員の皆様にも、ぜひご意見を賜りたいと思っております。

令和8年度の教育委員会にとって最大のプロジェクトは、竜王小学校の新校舎の完成・竣工、そして第2学期開始日の9月1日に、新しい学校へ大きな期待とワクワク感を抱き、笑顔いっぱい登校してくる子どもたちを迎えることです。

現在、その実現に向けてさまざまな準備・対応を進めているところですが、今後も職員はもとより、関係者の皆様と一丸となって取り組んでまいります。竜王町にとって歴史的な一ページとなる竜王小学校の移転新築を確実にやり遂げるという強い決意のもと、引き続き全力で取り組んでまいります。

本日もどうぞよろしく願いいたします。

沖教育総務課長
甲津教育長

それでは提案事項に入りたいと思いますので、教育長よろしく願います。
それでは議事に入ります。

日程第1 その他 1) 令和8年度竜王町教育行政基本方針策定に向けたスケジュールと基本方針前文(案)について説明をお願いします。

森岡教育次長
甲津教育長

(説明) スケジュール

(説明) 基本方針前文(案)

スケジュールと前文案について説明いたしました。お気づきの点や意見がありましたらお願いします。

(質疑等なし)

また、ご覧いただきまして、お気づきの点等がありましたらおっしゃっていただければと思います。

つづきまして、2) 令和8年度教職員人事異動に関する基本方針についてに移ります。事務局から説明をお願いします。

山中学校教育課長
甲津教育長

(説明)

令和8年度の西小学校における新1年生は34名の見込みです。36名以上であれば2クラス編制となりますが、現状では1クラスとなる予定です。今年度の6

年生は2クラスであるため、2クラスが卒業し、結果として1クラス減少することになります。

また、特別支援学級（知的障がい児学級）についても、これまで2クラスでしたが、1クラスに減少する見込みです。

これらの影響により、県費の教職員は2名減少する予定です。これまで各学年2クラス体制を基盤として学校運営を行ってきましたので、教員数の減少は学校運営上大変厳しい状況です。極端に言えば、2名が減少し、新たな配置がないという可能性もあり、学校の活性化の面からも非常に厳しい状況が想定されます。

竜王小学校においても、新1年生が34名の見込みであり、1クラス編制となる可能性があります。その場合、1クラス減少となります。さらに、今年度生まれる子どもの数が60名を下回る可能性があるとの情報もあり、今後も児童数の減少が懸念されます。

竜王中学校では、来年度2学級減となる見込みです。中学校では1クラス減少すると教員がおおむね2名減少するため、教職員体制への影響は大きいものがあります。

このように、子どもの減少に伴い、学級数および教職員数の減少が見込まれ、学校運営において大変厳しい状況となっています。

谷 委 員 人口増を望むのであれば、近江八幡市の沖島の学校は、越境入学を受け入れています。竜王町では、町内企業でお勤めの方が沢山おられます。

可能であれば、在勤者のお子さんを含めて、受け入れを考えてもよいのではないのでしょうか。

甲津教育長 町内の越境入学は、日野町で実施されている事例があります。

他市町からの受け入れができるかは、研究しなければなりません。

谷 委 員 教職員の人材育成を図るための人員配置を行うということが書かれています。

教頭、校長先生といった世代は、精神論で鍛えられた方が多いと思います。

そういった方が次世代の育成を行う場合、難しさがあるのではないかと思います。

指導する方のジェネレーションギャップを埋めるための教育ということが必要なのではないかと思います。

シニアアナウンサーが若手のアナウンサーの社員教育を実施されている事例があります。若手社員には、叱られることに慣れていない人が多く褒めて育てられてきています。彼らは、褒める教育を望んでいるようで指導すると辞めてしまうということをおっしゃっていました。

単純に定年退職を迎えた方が次世代育成するのであれば、ジェネレーションギャップを補うための教育が必要だと思います。

職員の人材育成を図るとありますが対象は、どういった方が対象なのでしょう。

山中学校教育課長 少し上の年齢の近い方がメンターという形で研修しています。

学校でもOJTとして、少し若手の数年経験した方とベテランの先生と初任者がグループを作って校内研修をしています。

また、県の教育センターでの研修もこのことを踏まえて中堅の方とクロス研修ということで実施しています。

県の教育センターでは、若い先生で辞められる先生も多く、気軽に話をすることができる場を設けられるように工夫をされています。

中島委員 若手教員に対する研修については、公立学校は非常に手厚い体制が整っていると感じております。

公立では、新任教員に対して指導担当者が付き、継続的に助言や指導を行う仕組みが設けられています。一方、私立学校ではそのような制度はなく、学年や教科内で相談しながら指導にあたっているのが実情です。

年間予算については全体的に節約をお願いしているところですが、研修費に関しては、着実に執行するよう指導しております。

しかし、日々の業務が多忙であるため、研修の時間を十分に確保することが難しいという課題も感じております。

公立学校では、経験年数に応じた体系的な研修プログラムが整備されていると聞いており、大変素晴らしい取り組みであると感じております。

甲津教育長 若手の先生で辞められる方はおられますか。

中島委員 経験を積んで、他の学校に行かれる方もおられます。転職へのハードルが低くなっていると感じます。

白井委員 会社でも新人を育てるということがありますが、自身の職場では、教育係を専任で配置することができませんでしたので、先輩について教えてもらうということになります。

しかし、先輩の技量によって伸び率が違います。育てる方も育つ方も力量によることがあります。

甲津教育長 皆さんから色々ご意見等いただきました。参考にさせていただきます。

つづきまして、3)教育施設の整備に関する状況報告についてに移ります。事務局から説明をお願いします。

沖教育総務課長 (説明)

甲津教育長 施設の整備に伴う引っ越し、また、それに伴う対応ということで進めています。

竜王小学校の新築、竜王西小学校と竜王中学校のトイレの改修、それから学校給食センターの整備ということで非常に大きな予算が必要な事業が進んでいます。

谷委員 新しい学校給食センターの検討をこれから進めていくということですが、アレルギー対応ラインも整備されるのでしょうか。それとも既存の施設を使うのでしょうか。

沖教育総務課長 新施設については、そういった機能を整えて進めていきたいと考えています。

谷委員 新たな学校給食センターは、竜王小学校の隣にできるということですが、全校児

童というわけにはいかないかもしれませんが、教室に持って行って配膳するという形ばかりではなく、バイキング形式で、子どもたちが好きなものを食べられるということも一つの魅力となり得るのではないかと思います。

沖教育総務課長 メニューにつきましては、栄養士さんで工夫いただいたり、子どもたちで考えていただいたりしています。新たな手法として検討材料になるのではないかと思います。

谷 委 員 例えば、毎週金曜日は、町民の方も給食に参加ができるということも考えてもよいと思います。民間に委託ということを見ると、土日も食事の提供をするといった概念も出てくると思います。それが収入として得られることにもつながると思います。給食のあり方検討委員会がありますので審議していただければと思います。

白井委員 地域に食堂を開放されている企業さんもあります。竜王町の場合は、子どもたちのリクエストも聞いていただいて実施するなど努力をされております。一般の方に開放するという事は、今の人数、構成メンバーで実施しようと思うと難しいというのが現状です。

地域に開放する分だけ委託して、学校をもっと知っていただくというような目的で何回か開催するというのであれば、現状の構成メンバーでも回れるのではないかと思います。資金が必要となるが、業者委託をして利益が上がるのであれば、給食センターに還元できますので、検討できる項目ではあると思います。

沖教育総務課長 運営方式につきましても各地で様々なやり方をされていますので、検討材料になると思います。

中島委員 学校生活を考えるときに「学校生活が楽しい」、「いろんな場面が楽しい」ということが大切であると思います。

食堂やカフェ、キッチンカーが来たりしていろんなところで楽しいということが大切であります。

中学校、高校となると発達段階が違うこともあり、どのような施設をすればよいかと考えるときに高校生と中学校ですり合わせるのが難しいと思います。

特に、学校給食となりますと先生方は、食育、アレルギーのことなど様々なことに気を使っただいており苦勞いただいています。

イベントのようなことをする時にどのように整理をして、影響があるのかということを考えて、実施について知恵を絞る必要があります。

学校生活を送るうえでいろんなところで楽しみが増えてくるということが大切であると思います。

甲津教育長 ありがとうございます。

子どもたちは、楽しみにしてますし、大切なセーフティネットでもあります。また、ふるさと給食、鉄分たっぷり給食など様々な工夫をしながら給食を実施しています。

バイキング形式の給食もアイデアとして頂戴したいと思います。

谷 委 員 通学路の関係ですが、S字の新設道路は、通学路になるのでしょうか。

沖教育総務課長 一部の地域の通学路になる予定です。

谷 委 員 現在、綾戸の集落内の道路については、通学路になっていて、朝は、大きな車両が入れないようになっていたかと思います。

このルールについては、引き継がれていくのでしょうか。子ども達が通るので交通事故も心配です。通行規制も考えていく必要があると思います。

沖教育総務課長 従来の綾戸集落内の県道の方は、交通量が減ると見込んでいます。

現状として綾戸交差点付近に歩道がない部分がありますので、県で歩道をつけていただく予定をしています。

谷 委 員 ラウンドアバウト付近には、歩道があるのでしょうか。

沖教育総務課長 歩道はあります。

白井委員 ラウンドアバウトは、道幅が狭く見えます。慣れていないのかもしれませんが、進入が難しいのではないかと思います。

沖教育総務課長 路線バスもこの道を通る予定であり、車幅を考慮した設計になっています。

甲津教育長 つづきまして、4) 連絡事項 に移ります。事務局から説明をお願いします。

奥課長補佐 (説明)

甲津教育長 以上、本日の日程は終了いたしました。委員のみなさんから何かございますでしょうか。

森岡教育次長 (説明) 令和8年1月1日付け人事異動について

沖教育総務課長 それでは閉会にあたりまして、谷委員からごあいさついただきます。

谷 委 員 本日は、来年度の教育行政基本方針についてご説明をいただきました。

基本方針の中で示された「きらりと光る」というキーワードは、本当に良い言葉であると思いますし、これまでも本キーワードに沿った取組を進めてきていただいていると思います。

話は変わりますが、ヴォーリス学園の松田副学長のお話を伺う機会がありました。同氏は「三方よし」に加えて、「未来よし」を含めた「四方よし」という考え方を大切にされているとのことでした。松田副学長はサッカーU-15、U-16、U-17の監督として準優勝を経験されており、将来にわたり子どもたちにとって良い未来となるよう意識して指導に当たってこられたとお話しされていました。

本日ご説明いただいた教育行政基本方針につきましても、将来、子どもたちが「教えてもらって良かった」と実感できるような道しるべとなることを期待しております。

引き続き、どうぞよろしくお願ひいたします。

沖教育総務課長 以上をもちまして、1月定例教育委員会を閉会いたします。